

# 農業委員会だより

## 6次産業で北上農業を元気に！ きたかみ農業フォーラム

「北上農業の未来を6次産業化で発展」をテーマに第22回きたかみ農業フォーラムは11月25日、日本現代詩歌文学館で行われました。

農家の皆さんや農業関係者など約200人が参加。八重樫彰会長のあいさつに続いて農業者表彰が行われ、農業経営の内容や技術に優れ、地域農業の振興発展に尽力した2人に表彰状と記念品が贈られました。また、農業委員会協力員として長年にわたる農業委員会業務の遂行に貢献した1人に感謝状が贈られました。

基調講演では、ノギヤルプロジェクト代表で文化起業家の藤田志穂さんが、「若い力で食、農を盛り上げよう」と題して、若者が食と農に興味を持つきっかけを作るために行っ



若者と大人の架け橋役になりたいと話す講師の藤田さん



和やかな雰囲気で行われた活動事例発表

たノギヤルプロジェクトの活動を紹介。ギヤルを対象にしたお米作りや野菜収穫ツアーなどの農業体験を行うことで、若者の食や農に対する意識を変えたいと話しました。

活動事例発表では、6次産業化に取り組んでいる3人が発表。奥州市の農事組合法人「原体ファーム」組合長の及川烈さんが、基盤整備事業をきっかけに組合を設立し、米に付加価値を付けるために米粉パンを生産販売したこと、西和賀町の農事組合法人「銀河の里沢内」代表理事の柴田照男さんが、地元の仲間たちとの熱意で組合を設立し、そばや加工品の販売を通じて雇用を生み出したこと、花巻市の農産物直売所「母ちゃんハウスだあすこ」店長の高橋宣充さんが、JA女性部を中心に加工品の販売を行っていて、最近は品目や

## 受賞おめでとうございます



協力員感謝状  
阿部 松雄 さん  
(下江釣子・79歳)



農業者表彰  
渡邊 和榮 さん  
(相去町・61歳)



農業者表彰  
秋野瀬 文夫 さん  
(和賀町横川目・64歳)

品数が増えてきていることなどが紹介されました。コメントーターの藤田さんからは、「組合員に対する話し方を変え、結果を残したこと」「熱い思いは人を引き付ける」「出品者同士のコミュニケーションが大切」など、それぞれの取り組みに対して講評がありました。

参加者からの質疑の後、コーディネーターの伊藤力雄農政部長が「6次産業化が地域を元気にし、活性化につながる」と話し、フォーラムを締めくくりました。

(農業委員 小原 富美雄)

## 市長に提言書を提出

市農業委員会は10月12日、平成25年度の農林業施策に関する提言書を高橋市長に提出しました。

この提言書は、農業委員が日々の活動の中で把握した農業者からの声を、農政部会で協議し、総会で決定したものです。

提言項目は次のとおりです。

- 「仮称営農指導センター」の設置
- 農業所得の向上策
- 担い手の育成と就農支援
- 地域特性を活かした農業振興
- 地産地消と食育
- 耕作放棄地の解消策
- 農地・水保全支払交付金の恒久的な制度化
- 地域農業マスタープランの策定
- 6次産業化への支援



高橋市長に提言内容を説明する八重樫会長(左側)

■審議データ

農地の権利移転・利用権設定等審議内容

農地法	上段 審議件数 下段 面積(m <sup>2</sup> )		
	9月	10月	11月
3条	5	2	6
	66,918	6,453	56,752
4条	1	0	1
	1,745	0	1,597
5条	8	13	10
	5,093	25,199	4,052
適用外証明	2	2	3
	427	653	214
農用地利用集積計画	0	3	75
	0	20,930	430,272

◎農地法3条…農地の所有権、賃借権などの権利を設定または移転する場合  
 ◎農地法4条…自己所有農地を転用する場合  
 ◎農地法5条…農地の所有権、賃借権などの権利を設定または移転して転用する場合  
 ◎農地法適用外証明…農地を20年以上他の目的に使用しており農地の復元が不可能な場合  
 ◎農用地利用集積計画…農地の所有権、賃借権などの権利を設定または移転する場合で受け手側が大規模農家の場合

■これからの主な行事

- 1月25日(金) 総会、農政・農地部会
- 2月21日(木) 農政部会
- 2月22日(金) 農地部会
- 3月21日(木) 総会、農政・農地部会



農地は荒らさずに耕作しましょう

年末の宅配もちが好評！  
ふれあいの会(JAいわて花巻女性部)



JAいわて花巻の北上西南地区女性部による農産物加工グループ「ふれあいの会」は、現在40人で活動をしています。  
 主な活動内容は、餅やがんづき、きりせんしよなどの加工品を作り、産直施設や各種イベントで販売。また、約30年前から年末に「ふるさと宅配便」として手作りの切り餅セットを発送しています。これは、白餅、豆餅、ごま・くるみ餅とそばのセットで、材料は全て地元食材を使用。毎年、約350セットもの注文を受けるため、餅米は約400kg使用します。部員が心を込めて作る餅は、「おいしい」と評判。今年も年内に届くように発送します。  
 (農業委員 高橋 マサ子)

農地利用状況調査実施

9月4日から14日までの間、市内全域の農地利用状況調査を実施しました。

現農地法で、農地の所有者や賃借権などにより耕作している人は、農地を農地として利用する責務規定があり、農業委員会が年1回、農地の利用状況調査を実施することが義務付けられています。

農地は食料の生産基盤であるとともに、生活環境や自然環境の維持形成に重要な役割を担っています。この活動は、遊休農地や違反転用などを未然に防ぐ役割も持つていて、大変重要な取り組みです。耕作が放棄されると、周囲の農地や住宅環境に迷惑を掛けるばかりでなく、不法投棄の誘発や火災を招く危険性があります。

ます。

所有者などが、責任をもって農地を維持管理する意識をしっかりと持ち、次世代に引き継ぐ必要を強く感じます。

(農業委員 高橋 清久)

岩手県農業委員大会

岩手県農業委員大会は11月9日、盛岡市都南文化会館で行われました。

式典では農政功労者などの表彰が行われ、当委員会と2人の委員が活動記録部門で表彰されました。また、大会議案として農業施策の充実に關する要請などを審議。特にTTP交渉には絶対参加しないことを強く求める特別要請を行うこととし、全ての議案が可決されました。東日本大震災からの復興などに向け、総力を結集して邁進することを宣言し、閉会しました。

◇活動表彰活動記録部門

北上市農業委員会  
 松田 繁 氏、阿部 光一 氏  
 (農業委員 齋藤 三英)

農業委員の改選間近

現在の農業委員の任期は平成25年3月31日までです。なお、選挙による委員の定数は30人です。